



# 敵陣に突入した時

## 残るは分隊長と私のみ

### チ、ハル攻撃が一目瞭然

#### 眞に血沸き肉躍る此一文

##### 惜くも痛々しい 坂内一等兵の手記

チ、ハルの戦ひに大奮闘し、零下四十度の嚴寒に痛々しくも凍傷に冒され奉天衛戍病院に入院治療中の歩兵二十九聯隊一等兵坂内勝君は平町二丁目鍋嘉支店の店員であつた。最近同君から主家に寄せた左の一文を讀むと戦線の模様が一目瞭然眞に血沸き肉躍るの感がある。

酷寒厳しき十一月十七日夜我軍は陣に向ひ勇氣満ちて〇〇支那部落を出發致しました。

敵前千五百まで前進した時は午後十一時三十分頃、敵は豆をふる様に猛烈に射撃を浴せる。

我々は、靜肅に明朝の攻撃準備にまず散兵壕を掘り始めた、酷寒のため主が氷つて仲々掘り難い、猛射の中を屍とも思はずこつこつと漸く出來上つたのが十八日午前四時頃でありました、一汗かいて後、夜の明けけるのを待ち、壕の中でせき一ツ出す者はない、にぎりめしを食はんとすれば、石の様に氷つてしまつ

た、水筒の水も永る、實に寒さが身に必みて痛い、敵は執念深く

一晩中 射撃を續けて居る、時々頭の上をビュウ／＼と砲弾が飛んでくる、その内に十八日午前五時四十分夜が薄々と明け始めた、同時に我軍の野砲、重砲、山砲隊の攻撃が始まつた、よし始まつたならば、自分等も攻撃準備に移つた、敵もどん／＼と野砲、山砲を射ち始めたので廣い野原はものすごい白煙黒煙でつゞまれてゆく、我軍の飛行機も活動を始めた、實に面白い、愉快だ、砲兵隊の戦が

三時間 午前九時歩兵の總攻撃命令に私は第一大隊左第一線に散開し、タンク及装甲自動車先頭に奮戦、午前十時三間房の敵陣にワツとばかり突入致しました、其の時、自分の分隊は分隊長と私とタツタ二人、あとの者はと始めて後を見れば、敵陣のために皆負傷致して居るではありませんか、幸ひに私は彈雨の

中をくゞり通り負傷した直ちに第二大隊方面の敵に側射攻撃を致したので、これを見た敵はかなはんと怖氣立つてか後退を始めた、そこに第二大隊が突入、それより我軍は進撃、追撃射撃だ東支鐵道に着いたのが午後三時頃でありました敵は四方八方へと退却、それより我軍は集結し第十五旅團は右より第三旅團は左よりチハルに向ひ前進致したので、途中

何度となく襲げきを受けチハル南方一里半に着いたのが十九日午前四時頃でありました、依然敵も頑強に抵抗を續ける、チハル南方一里半の所にも敵陣があり我軍の來入を知り一齊射撃を浴せかけ我軍は身方射をやる、實に我々を悩ました、我軍はこれより先は夜の行動が危険とみて其の地点より

約一里 後退し支那部落にて夜の眠るのを待ち

十九日午前中休養、午後一時よりチハルに向へ前進致しました。敵はもう退却したらしい午後三時半完全にチハルを占領致しました。萬歳、萬歳。

第一線は思ひのほか戦死負傷がないものです、反つて豫備隊の方が澤山の犠牲者を出して居ります、又こんどの戦は酷寒とも戦ひましたよ。

澤山の 凍傷病者が出來ました、ほとんど凍傷になりましたが重傷者は關東軍及朝鮮部隊で四百名自分も其の一名となりました、チハルまでは元氣旺盛、任務を續行し最後まで奮戦致しましたがチハルを占領し安心致したせいか、足が棒の様にはれて歩く事が出來ずチハル領事館に入院致し廿三日午前七時チハル出發、奉天着廿四日午後二時奉天衛戍病院に送られました、奉天

其の他 各駐屯地に送られた者が二百五十名です、自分も其の一名で實に残念でなりません、然しチハルを完全に占領し後倒れたのですからあきらめて居ります、早く全快し又第一線に向ふ覺悟です何卒御心配御無用命さへあれば又働けますから、もうこの寒い間は戦もないでせうから……それでも凍傷のため足及び手を切り取る者もあるのです、こんな人はたまに仆れたと同じです、戦のため凍傷になつたのです

から奉天に二ヶ月ぶりて歸つて來ました、奉天はチハル方面と變つて暖かです早く全快しこんどは〇〇〇〇を〇〇致しますよ、尙聯隊にも戦死者及び負傷者が多々有ります、皆運命の様に思はれます(十一月廿五日)

石城郡木炭界に官行製炭の出現により民間生産業に影響するところ至大と見られ漸く開發しつつある民間業者の脅威である如く聞へられたが現在平營林署管内の製炭量は僅々一ヶ月四千俵内外にすぎず且地元消費は全然なく主として東京千葉茨城地方に移出し炭價も民間ものより約一割位高價を示してゐるので到底民營のものと比較にならない状態で過去數年以前に比すれば反比例の現象を示してゐる

移出米増加 今後は益々 平穀物検査所にて行つた十一月中に於ける移出米検査俵数は六三口、一三五俵で内譯は四等一四俵、五等六七俵、等外五四俵であるが前月検査俵數一〇五俵より三十餘俵増加を示して居り新米の走りが出て居るので今後は急激な移出米を見るだらうとの事である

高麗橋の架替 平町八橋小路と六間門を連絡

輝く精勤章 二九聯隊から 平役場へ通知 本日平町役場に歩兵二九聯隊の精勤章付與者の通知あつたが其氏名左の如くである

大平光毅(赤井)故田中七藏(江名)國兼正勝(植田)瀬谷勉(同)伊藤利雄(湯本合津登(水戸)上遠野好行(上遠野)高木久(錦)芳賀貞義(草野)小野金次郎(小名濱)遠藤正直(内郷)安島春雄 小張幸次郎(勿來)木田彌之助(好間)鈴木庄(豊間)

林野組合總會 役員改選協議 平署管内林野保護組合では八日午前十時より平署會議室に於いて總會を開催役員改選其他の協議を行

難波醫院 平町新川町 電話五〇二番

今日話 長野縣小縣郡浦里村の吉畑キミ(ミ)といふお婆さんは、近所の宮下トミといふ同年のお婆さんと、三年前から「あんたよりワシが先に死ぬ」「いやワシが先だよ」といひ張り合つてゐた、處が、最近トミ婆さんが病氣して、どうもむづかしいといふ話を聞いたキミ婆さん、死におくれたら、世間から生き残り指さされるだらう、それが癪だと、自宅の井戸へ飛び込んで、トミ婆さんより一足おさきにあの世へ恐しく、敗けず嫌ひな婆さんもあるもの。

平町物價 品名 量目 價格 白米 一等一キロ、一四〇 二等、一三五 三等、一三〇 白麥 同 〇九〇 白麥 同 〇九〇 味噌 一貫目、三五〇 醬油 一升、三五〇 清酒 同、九〇〇 木炭 樽丸一貫目、二一〇 樽割 同、一七〇 雜木 同、一七〇 砂糖 白、百斤、一三〇 赤、同、一三〇 豚肉 並上、同、四〇〇 並下、同、三五〇 牛肉 並上、同、四〇〇 並下、同、三五〇

平町人事 回出 生 △六間門十五 當時東京府下北豊島郡岩淵町下内 三村利政氏長女幸子 回死 亡 △長橋町一五 高橋利子(一ツ)

移出米増加 今後は益々 平穀物検査所にて行つた十一月中に於ける移出米検査俵数は六三口、一三五俵で内譯は四等一四俵、五等六七俵、等外五四俵であるが前月検査俵數一〇五俵より三十餘俵増加を示して居り新米の走りが出て居るので今後は急激な移出米を見るだらうとの事である

# 愛國の血したる

## 悲壯な志願狀

### 滿洲事變に痛憤

#### 是非出征し度いとて

石城郡勿來町の西山金作君は本年の徴兵検査に甲種合格となつたが抽籤の結果補充兵に編入された處が今回の滿洲事變に痛憤し祖國を背負つて戦線に起んと是非志願兵として滿洲へ出征さして戴き度いと血書を認め三日同町役場へ願出たと

#### 石城郡出身 平町各種 身在滿兵 團体募集

#### 慰問金品

四日現在

- △一丁目 坂本隆藏 飯田近治 小原喜八 菅本庄治 治鷹崎千代(壹圓五十錢) 比佐信太郎 根本龜吉 白土七太郎 富田藏八 西脇庄次郎 松崎安 蘭 部國安 田口文平(壹圓) 馬目太郎 白土貞三 菊池寅次郎 菅本武雄 水野清一 大金英夫 吉田彦太郎 關彰 森田一金田久馬 草野精郎 伊藤六兵衛 平野鐵三郎 齊藤喜代志 野上龜太郎 綿引秀親 伊藤軍二 永澤義一 遠藤五三三郎 中村ハナ 石川平之助 谷口部屋 明智三郎 高瀬平太郎 根本磯右工門 東源 關原新一郎(五十

漸次壓迫され而も昨今の不況の爲實現は甚々困難なので平荷馬車軌子組合等よりも延期の陳情書を提出中である大體に於て更に一ヶ年延長の昭和七年十二月末日までとなるらしいと

## 除隊兵

### 平驛賑ふ

去月中に平署の取扱つた事件は窃盗犯の五十四件、検挙人員十四名を頭に詐欺が九件で十六名、傷害の四件七名、恐喝五件三名、横領が五件二名、強盗が二件二名、等總件數百四十一件、人員六十三名に及んで居る

## 言渡された罰金も

### 納めずに又違反

石城郡好間村大字北好間字板木澤田中兵三郎(五)は八月頃無届で人事周旋をなし平區裁判所より廿圓の罰金を言渡されたがそれも納めず去月十七日内郷村大字綴字町ノ内煙草屋松崎要作の三男博(五)を秋田縣仙北郡金澤村周旋業、石川勇次郎(五)と謀り東京市本所區の某材木店に周旋した外六件の無認許周旋をして居る事發覺平署に檢舉されんとするや逸早く行衛を晦した

滿洲兵に 志賀直三 注ぐ赤誠 (一)君は貯蓄の金二圓五十錢を舊城跡四二柴田長助氏は梅干一箱を本日町役場へ持参在滿出征兵の爲にと寄贈した尙紺屋町より五十六圓八十五錢、鍛冶町よりは六十三圓七十錢、播穂小路からは八十八圓六十五錢が夫々募集濟となつた由

## 更に一年

### 延期か

荷馬車の車輪の改造の猶豫期間 運送荷馬車の車輪改造の猶豫期間は十二月末を以て切れるが近時運送業者は高速度交通機関の發達に伴つて

着列車で田町五番地歩兵第三聯隊補助看護兵岩瀬重次君が歸郷するので町役場では在郷軍人會青訓生徒其他を以て驛頭に歓迎する筈

## 平署の去月統計

矢張り窃盗犯が第一、去月中に平署の取扱つた事件は窃盗犯の五十四件、検挙人員十四名を頭に詐欺が九件で十六名、傷害の四件七名、恐喝五件三名、横領が五件二名、強盗が二件二名、等總件數百四十一件、人員六十三名に及んで居る

## 送湯問題 順調展開

對湯本町の間の送湯計劃は未だ解決の運びに至らぬが同炭礦から東斜坑の場場を送る設計が終了し湯本町に通達あつたので二日午後七時から區長會議を開き打合せを爲した

## 聞き込んだ金時計

### 飲食店から騙取

石城郡好間村大字下好間字沼田鈴木友太郎(五)は去月中同村下好間代書人満山平藏が同村上好間字町田の中村亭に飲食代七圓六十錢の抵當として金時計を預けてあるのを聞き込み満山に依頼されたり中村亭を偽りその時計を受取つて平町南町澤田武吉に十圓で賣却した事を探知され三日詐欺罪

## 寒氣に悩む

### 水道擴張工事

平町上水道擴張工事は最近非常に進捗し目下最後の大工事として同町八幡小路配水池構の完成を急いでゐるが最近寒氣のため床壁の混凝土工事が乾燥せず時によ

明日のラジオ

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
- お話犬水野五郎
- 後六、三〇 英語講座「初等科」寺西武夫
- 後七、三〇 趣味講演「法印神樂の話」本田安次
- 後八、〇〇 ラヂオドラマ「明日から」東京放送劇團
- 後八、四〇 三曲「あまの川」青森根市きよ外
- 後九、〇〇 連続講談「幡隨院長兵衛(第四席)神

明日の部

- 田伯山
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報
- 後九、五〇 氣象通報
- 後一〇、〇〇 養料料理「豚肉の黄味まぶし」榮養研究所
- 後一〇、三〇 子供の時間「三重奏」トリオ・ミカミ
- 後一〇、〇〇 修養講座「歴史美と道徳美」文學博士 深作安文
- 前一〇、四〇 時事講座

## 火の見を建替

石城郡好間村大字川中子同村消防第一部の火見櫓が腐蝕甚だしいので此程同村消防組員七十餘名出動建替を行つた

## 鹿島衛生協議

石城郡鹿島村では十日午後一時より同村小學校に於いて村衛生係各衛生區長を招集傳染病豫防法其他に就いて協議する筈である

## 神詣で團體

平驛では來年二月催される關西中國四國地方神詣での旅行團體を募集中である

## 平映畫界

平館「姉妹」栗島すみ子 田中絹代主演「美丈夫左

「國際聯盟理事會最近の經過に就て」國際聯盟協會主事 赤松祐之 後〇、四〇 筑前琵琶「菊の朝露」福田旭婉 後一、二〇 映畫物語「女學生日記」須田貞明 後一、五〇 俚諺「吹き寄せ」 後二、二〇 運動競技「早大對明大ラケット試合狀況」 後六、〇〇(子供の時間) 兒童劇館屋の小父さん 名古屋おもちゃの家 後六、三〇 ラヂオ講座「中繼放送の話」AK技術部 加藤末丸 後七、三〇 「第二回在滿同胞慰安の夕」尺八描寫樂軍歌 酒井竹保作曲

## 一冊の代金

御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

小説

# 七五郎

【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

濡れ燕 (3)

「分りますか。」

「そりあお前さア、臭氣をかいても分るだよ、私成年の生れだてよく鼻が利くからね。そのくせ鼻は大開きにひらかつてどつちへ轉がつても倒れつこのない安全鼻だけんだ。オホ、オホ、オホ、内儀さんね。どんな臭がします。」

「男臭いだよ。常不斷喰つけてゐるから争へねえもんでな。」

「あら、随分皮肉ね。オホ、オホ。」

「やつと笑へるほどの元氣が出たので昨夕からのいきさつをざつと話すと、内儀さんはすれかき驚いて了つて。」

「然うかね、まア……何ちうふてえ奴らだんべえな成程横濱は狭いやうで廣いもんだ、人の氣のつかねえ所にそんな獸が棲みけえして居るだからえ、ちやお前さアこれから早く警察へ願つて出てふんづらめて貰つたら如何だね、打棄つていたら此上どんな恐ろしい悪さをするか知れたもんぢやねえだよ。」

「いえ、夫も然うですがね表沙汰にすれば其十文字屋



に成つて済みません、まあおかげ様で私は命拾ひを致したと言ふもの決して御恩は忘れません、どうも有難うございました、有難うございました。」

「然うかね、私はどちらでも宜いが夫れでお前さんが承知がゆきなすつたら夫れ

で宜し、私たちと違つて全く身分のある人だから、まアそれも然うだけれど、誰が聞いたつて小面僧い仕打だからな、全くだよ。」

「然ういつて下さるのには、ほんとに有難いんですのよ時に内儀さん、お蔭さまで體の具合も大層よくなりまして、家ぢやさぞかし皆なが心配して居るだらうと思ひますから、お晝ツからそろそろお暇をして歸るやうなことにしますわ、それでア、お願ひですがね、コートもスカートも、羽織も紙入も皆な取落してしまつ

て、なんぼ何んでも此の装ざや歸られあしませんから誠に此上あつかましいお願ひして済みませんが何卒お助けのいでにあなたのお召物と、それかう新橋までの電車賃をお借り申したいんですがね、さう下さるでせうか家の鬮を跨ぎさへす

りや真ぐとお返ししますが……。」

「そりやい、だよ、電車賃ぐらゐは此處に持つてゐるからお立替へするだがそのそれお前さんの着物、お貸しするやうな氣のきいたものなんかは無えんだが困つたな、羽織の一枚ぐらゐは無い譯でもねえけん、亭主の野郎がやくざ者だて時々引剝しちあ一六銀行の方へ……。」

「いえ、そんな立派な物でなくたつて宜しいんですの今着てゐらつしやるやうな上ツ張りを貸して戴きたいんです。」

「えッ、こんな物を……冗談言、言わつしやるな、お前さん達にこんな上ツ張りが着られるものかな……。」

内儀さんは目を圓くしたお粥を喰べてから歌治は支度をした、盲編の上ツ張を被つてそれをひもでもてめ手拭を姐さん冠りにして町に出た姿は、誰が見ても労働者の妻と思へなかつた内儀さんはわざ／＼櫻木町まで送つて行つた。

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病

**林病** 腸虫病 十二指

門專 腸病科

院醫科 七〇一話電

村松 町南平

。たしまきづ近も年23々愈

やきがは賀年

を命用御の刺名

社會式株刷印日每警常

寒い、北海道で出来る靈藥

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

松前公御典醫之秘法 家登

靈効散

胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御試して下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものですから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時は返金致します(定價は八日分五十錢です)

平町古鍛冶町(電話四四番)

靈効散 阿康藥舖

地方代理店

花柳科專門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際 電話三〇九番

移轉お知らせ

此度平町田町七十五番地(元平町役場跡)に移轉致しました。從來の通り一般の診療に従事致します。右お知らせまで。

昭和六年十一月廿九日

平町田町七十五番地

清水醫院

醫學士 清水廣政

電話二三八番

科病柳花・科兒小・科內

院醫沼藤

町屋紺町平 電話七〇五話電

應需院入

看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

上田外科醫院

平町南町

電話二一九番